

<b>トリフルラリン・ベンディメタリン粉粒剤</b> <b>コンボラル</b>	<b>取扱メーカー：</b> バイエル  <b>原体メーカー：</b> ゴーワン，BASF
<b>成分：</b> トリフルラリン〔ジニトロアニリン系 PRTR・1種〕…1.2% ベンディメタリン〔ジニトロアニリン系 PRTR・1種〕…1.2% <b>その他 PRTR 該当成分：</b> パリゴルスカイト〔PRTR・2種〕……………86.3%	<b>性状：</b> 黄色細粒及び微粒 <b>毒性：</b> 普通物 <b>消防法：</b> —

### 【品目特性】……………

- 非ホルモン・吸収移行型の除草剤で雑草の発芽時に幼芽・幼根から吸収され、分裂組織の細胞分裂を抑制して生育を抑える土壤処理型除草剤である。
- 両成分の作用により、一年生イネ科雑草から一年生広葉雑草まで広範囲の畑地一年生雑草に優れた除草効果を示す。
- 土壤中での移動性は小さく、土壤表層に安定した処理層を形成するとともに、除草効果の持続期間が長い除草剤である。
- 粒剤タイプなので使い易く、手まきもできる。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

### 【使用上のポイント】……………

- 必ず雑草の発生前～発芽時に散布する。
- キク科雑草とツユクサには効果が劣るので、これらの雑草の優占圃場では使用しない。
- 土壤が非常に乾いている時は効果が劣るので土壤が適当に湿っている時、又は適当に湿らせてから散布する。
- 風によってまきムラを生じやすいので注意する。

### 【薬効・薬害等の注意】……………

- 砕土、整地は丁寧にする。覆土は細かく砕いた土を用いる。
- 重複散布はさけ、まきムラのないよう均一散布する。
- たまねぎ（露地マルチ栽培）に使用する場合は、薬害をさけるため定植7日前までに散布する。
- マルチトンネルやハウス栽培などの作型では薬害をさけるために特別の注意が必要であるので、使用前に必ず農業技術者に相談する。
- 適用作物（麦類、陸稲、キャベツ、はくさいなど）の薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。

### 【安全対策上の注意】……………

- 眼に入らないように注意する。眼に入った場合は直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯する。
- 藻類に影響を及ぼすので、使用時は注意。
- カブレやすい体質の人は取扱いに十分注意する。



【適用と使用方法】 .....

作物名	適用雑草名	適用 土壌	使用時期	10 a 当り 使用量	使用 方法	適用 地帯	本剤の 使用回数	トリフルラ リンを含む 農薬の総 使用回数	ペンディメ タリンを 含む農薬 の総使用 回数	
ね ぎ	一年生雑草 (ツユクサ、 キク科を 除く)	全土壌	定植直後	4 ～ 6 kg	全面 土壌 散布	全域	1 回	2回以内	1 回	
やまのいも			植付後～萌芽前 但し、植付後 30日まで					1 回		2回以内 (土寄せ 後の処理 は1回以 内)
にんじん			は種直後							
さといも		砂壤土 ～植土	植付直後					2回以内 (土寄せ 後の処理 は1回以 内)	1 回	
キャベツ はくさい			定植前 (植穴掘前)							
こんにゃく			植付後、培土後 (萌芽前)							
にんにく			植付前～植付後 但し、収穫 90日前まで			北海道 を除く 全域	2回 以内			
たまねぎ			定植後 但し、収穫 75日前まで							
たまねぎ (露地マルチ栽培)			定植前 (マルチ前)							
麦 類			は種直後			関東 以西	1 回			
陸 稲						北海道 を除く 全域				
ばれいしょ			植付後～萌芽前 (雑草発生前)							